

## 1 国語に関する調査

### 【特長】

- 「学年別漢字配当表」に示されている漢字を、文の中で正しく使うことは、比較的正答率が高かった。日々の漢字学習の成果と考えられる。
- 文章を読んだ後の話合いで、物語の何に注目したかについての説明として適切なものを選ぶ問題において、多くの児童が人物像を具体的に想像することができた。

### 【課題】

- 資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫することができるかを見る問題では、話し方の工夫として適切なものを選ぶことに課題がある。複数の資料を活用して考える学習の機会を増やしていく。
- 文の中における主語と述語の関係を捉える問題では、長文の中で主語を正しく捉えることに課題がある。日々の学習で、文章の中から主語と述語を確認し、主語と述語の関係を理解できる場面を増やしていく。

## 2 算数に関する調査

### 【特長】

- 数量の関係を口を用いた式に表すことができるかどうかを見る問題では、文章を読み問題場面を表す式を選ぶことがよくできた。
- 直方体の見取図について理解し、作成途中の直方体の見取図について、辺として正しいものを選ぶことができた。

### 【課題】

- 計算に関して成り立つ性質を活用して、計算の仕方を考察し、求め方や答えを式と言葉の両方を用いて記述し、説明することに課題がある。計算に関して成り立つ性質を活用して、計算を工夫するような学習活動を増やしていく。
- 速さが一定であることを基に、道のりと時間の関係について、文章を読み取り、答えを求めることに課題がある。問われていることを読み取り、速さと道のりの関係を図で表すなど、イメージできるような方法を取り入れた授業を行う。

### 3 児童質問紙の結果より

#### 【特長】

- 地域や社会をよりよくするために何かしたいと考え、将来の夢や目標を持ち、人の役に立ちたいと考えている児童が多い。
- いじめは、どんな理由があってもいけないことだという意識が高く、困っているときには進んで助けようとしている児童が多い。

#### 【課題】

- 平日休日共に、家庭で学習する児童が少なく、テレビや動画を見たり、ゲームをしたりして過ごす児童が多い。家庭での学習時間を作るように声をかけていく。
- 新聞や本を読む児童が少なく、活字に触れる機会が減ってきているため、学校図書館を活用して読書に親しむ機会を増やしていく。

### 授業・学校生活の充実に向けた取組

- 文章を読み取る力をつけるため、読書の時間を増やすと共に、学習の中でも場面をイメージさせたり、問われている内容について確認したりしながら、自ら思考する機会を増やす。
- 話し合い活動を通して、学校研究のテーマでもある「自分の考えをもち、伝え合う姿」に近づけるように授業改善や工夫を行う。
- たてわり班活動を通して、高学年としてのリーダーシップを身につけたり、お互いを知り、認め合ったりできる異学年交流の場を大切にする。
- 一人ひとりのよいところを認め、できないところは一緒に考え、児童に寄り添いながら支援を続けていく。

### ご家庭で取り組んでいただきたいこと・地域の方に知っておいていただきたいこと

- ご家庭で学習する時間の確保と、学習できる環境づくりを心がけ、子ども達が進んで学習に取り組めるように見守り、励ましの言葉がけをお願いします。
- インターネットやゲーム、スマートフォンを使用する際には、内容や利用時間を確認し、長時間の使用を避けるようお願いいたします。
- 自ら進んで行動できる子を育てるため、地域やご家庭で子ども達が活躍できる場が増えるようにご協力をお願いします。